



クライアント 操作マニュアル

C00-00 共通操作編

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール

DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のもも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. 起動方法

DN クライアントを起動します。

- 1 デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。



Windows タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]、または、[すべてのプログラム]をクリックして表示されるプログラムメニューの[DataNature Smart]-[クライアントツール]からも起動できます。

▼[サーバーへの接続]ダイアログボックスが表示されます。



スタンドアロンモードの場合、[サーバーへの接続]ダイアログボックスは表示されません。起動するとすぐに、ようこそ画面が表示されます。

- 2 ユーザー名、パスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックします。

▼DN クライアントが起動し、ようこそ画面が表示されます。



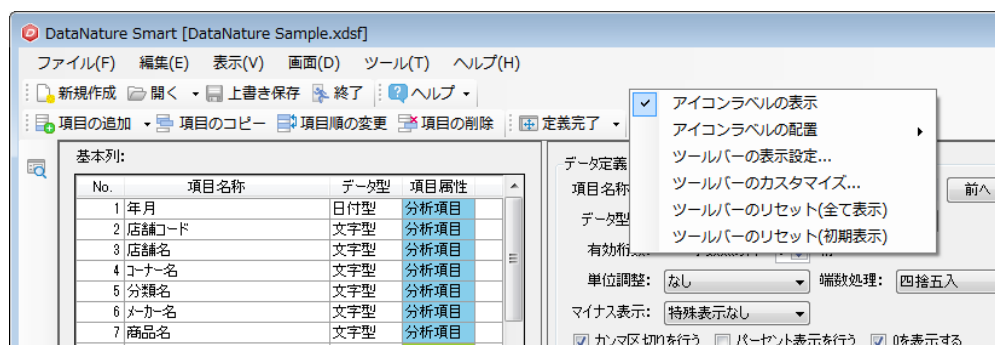
DN クライアントの起動には、ユーザー名とパスワードが必要です。事前に DataNature 管理者へお問合せください。



DN クライアントは、1 台の PC で最大 5 つまで多重起動できます。

3. ツールバーの設定

各画面のツールバー領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューから、アイコンの表示を設定できます。アイコンラベル(機能名)の表示/非表示や配置、表示するアイコンの種類を、使いやすくカスタマイズできます。



◆ アイコンラベルの表示

初期設定では、表示する設定になっています。メニューをクリックして、表示するかしないかを切り替えられます。

▼ 表示する場合



▼ 表示しない場合



◆ アイコンラベルの配置

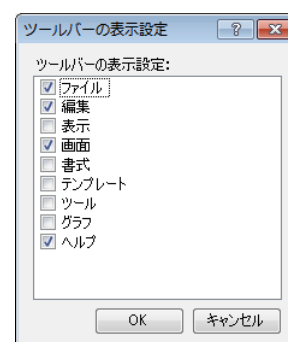
アイコンラベルを表示する場合、ラベルをアイコンの右側に表示するか、下側に表示するかを選択できます。初期設定では、右側に表示されます。

▼ 下側に表示する場合



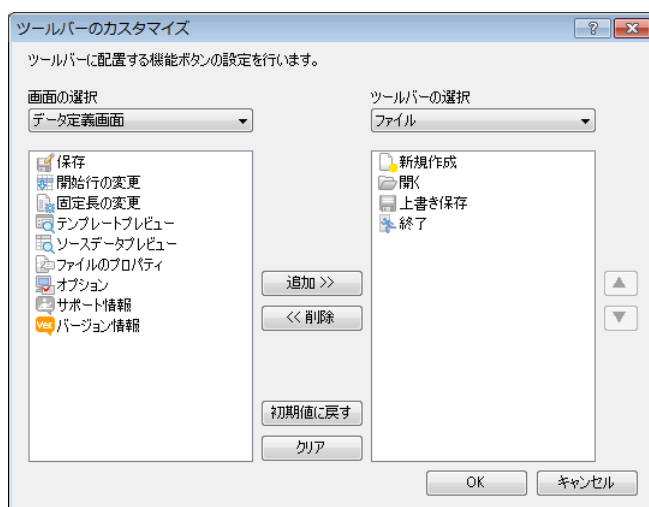
◆ ツールバーの表示設定

[ツールバーの表示設定]ダイアログボックスが表示されます。ツール(グループ)単位に、表示するアイコンを設定できます。画面によって、表示すべきアイコンがないグループは、チェックオフになっています。表示する場合は、後述の[ツールバーのカスタマイズ]を行ってください。



◆ ツールバーのカスタマイズ

[ツールバーのカスタマイズ]ダイアログボックスが表示されます。インストール直後のツールバーには、使用頻度が高いと思われる機能だけをアイコンとして表示しています。ツールバーに配置するアイコンを設定できます。



- ① 「画面の選択」欄から、カスタマイズを行う画面を選択します。
- ② 続いて、「ツールバーの選択」欄から、カスタマイズを行うツール(グループ)を選択します。
- ③ 画面左側には、その画面で利用できるアイコンでまだツールバーに配置されていないものが、右側には、ツールバーに配置されているものがそれぞれ表示されています。アイコンを選択して[追加>>][<<削除]ボタンを使ってツールバーに表示するアイコンをカスタマイズします。
- ④ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

◆ ツールバーのリセット(全て表示/初期表示)

ツールバーの設定をリセットします。リセットの方法は 2 つあり、全てのアイコンを表示するか、あるいはインストール直後の状態に戻します。

4. ファイルの種類と機能

4-1 データファイル

ようこそ画面では、集計対象となる基データを指定できます。指定できるファイルの種類は以下の通りです。

オリジナルファイル	基データとテンプレート情報を一緒に保存した DataNature 専用ファイル(*.xdsf)です。DN クライアントがインストールされている環境では、ファイルをダブルクリックして開くこともできます。
テキストファイル	カンマ区切り(*.csv)、タブ区切り(*.txt)、固定長(*.txt)の 3 種類のテキストファイルです。固定長テキストファイルを選択した場合は、[固定長の変更(新規作成)]ダイアログボックスが表示され、項目名称と区切り位置(桁数)を指定できます。
Excel ブックファイル	Excel ファイル(*.xls、*.xlsx)を直接読み込みます。[項目の選択]ダイアログボックスが表示され、読み込むシート名を指定します。なお、パスワード付きの Excel ファイルは読み込めません。
MS-Access データベース	Access ファイル(*.mdb、*.accdb)を直接読み込みます。[項目の選択]ダイアログボックスが表示され、読み込むテーブルやクエリ名を指定します。

クライアントモードで起動した場合、ファイルの参照先を「DataNature Smart フォルダ」が「個人フォルダ」から選択できます。スタンドアロンモードで起動した場合は「個人フォルダ」にのみアクセスできます。



「DataNature Smart フォルダ」を利用する場合は、事前に、DN 管理ツールで公開設定を行う必要があります。詳しくは DataNature 管理者へご確認ください。

DN 管理ツールで「データフィルタ」の設定を行っているオリジナルファイル(*.xdsf)、または、カンマ区切りテキストファイル(*.csv)を指定した場合、[データフィルタ(ファイル名)]ダイアログボックスが表示されます。

条件を指定することにより、特定のデータだけを抽出することができます。



データフィルタは、事前に、DN 管理ツールで設定を行う必要があります。

詳しくは DataNature 管理者へご確認ください。

4-2 テンプレートファイル

各画面で登録したテンプレートを保存するファイル(*.dtmx)です。データ定義画面で設定したデータ型や項目属性といった構造定義情報や、集計表/グラフ/ボタン分析画面のテンプレート情報を持っています。

テンプレートファイルのみを直接作成したり、開くこともできるので、例えば、システムの運用開始前で実データがないような場合には、テンプレートだけを事前に作成して、その内容に見合うデータファイルを運用開始後に読み込んで利用することもできます。

なお、1つのテンプレートファイルには、最大 256 個のテンプレートを保存できます。

テンプレートファイル(*.dtmx)

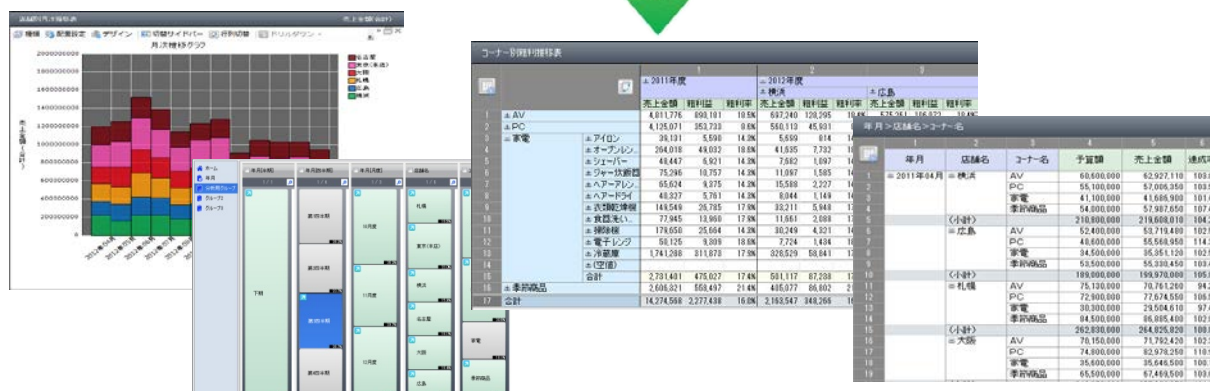
…構造定義情報、集計表/グラフ/ボタン分析画面の
テンプレート情報



データファイル

…集計対象となる基データ

さまざまなアウトプットを 1 タッチで表示



テンプレートについては、C00_01「テンプレートについて」をご覧ください。